

奈良県道路整備基本計画及び奈良県農業研究開発中期運営方針に関する 政策検討会議 委員意見

1. 道路整備基本計画について

一 整備すべき道路のあり方

1 骨格幹線道路ネットワークの形成

① 骨格幹線道路ネットワークとその考え方

- 幹線道路の整備が進み、県内の移動がスムーズになったと実感しているが、平面交差部では渋滞が発生している箇所もある。急ピッチで整備を進めていただきたい。

② 実現のための事業展開

2 目的志向の道路整備の推進

① 企業立地を支援する道路整備の推進

② 生活利便の向上に資する道路整備の推進

- 重要な生活道路で、歩行者の通行環境の悪いところをチェックして、2年、3年位で全部やってしまうというくらいの取り組みを要望したい。
- 公共交通機関を使って歩いて暮らせるまちづくりが大切になってくると思う。

③ 観光振興に資する道路整備の推進

- 道の駅のアメニティの整備をしていただきたい。また、道の駅と一体となった観光情報発信機能の充実に取り組んでいただきたい。

④ 安全・安心を支える道路整備の推進

- バス停の環境を整備していただきたい。
- 通学路の緊急合同点検の対策は昨年末で目標に掲げられたことを達成したと思うが、まだまだ整備しなければならない箇所があると思う。
- 市内の生活道路で狭隘で危険なところを計画的に整備していくべきである。

二 道路整備の進め方

1 評価の重視と「選択と集中」

① 段階に応じた評価の実施

- 道路建設が途中で中断している所で、これはやるというものは、明示し、5カ年の中で実現するような姿勢を示す必要がある。
- 事業再評価の充実で、見直すべきは見直していくべきであり、進まないからということではなく本当に必要かどうかを見直していくことは大事なことだと思う。
- 奈良県の道路をどのように進めていくかという基本計画であるので、必要か必要でないかという判断をしっかりと、新たに見直すところは見直して頂きたい。

② 「選択と集中」による予算マネジメント

- 選択と集中ということについて、従来の拡大基調を前提とした事業環境は転換点を迎えているとする点は共感できる。

2 連携・協働と説明責任

① 市町村等の関係機関等との連携・協働

- 観光振興策や植栽計画との連携が大事である。
- 「進捗管理型投資」は、うまく進みそうな箇所は傾斜的に予算を配分するが、それ以外は後回しになるという読み取り方になると思う。これは、市町村担当者にとっては、厳しい話だと思うが、市町村との連携という部分で、市町村からしっかりと意見聴取していただきたい。

② 説明責任の重視

- 各分野別プランの策定或いは見直しについて、「見える化」を進めるべきである。

3 契約・許認可の適正確保と品質向上

4 その他

道路整備の数値目標を持つということを要望したい。

2. 奈良県農業研究開発中期運営方針について

一 効果的な研究開発のための方策その他

研究の高度化ということで、国の内外の学会や研究機関等へ派遣する、交流することは大変すばらしいことだと思う。

二 業務・運営に関する重要事項

新たな高度な研究開発ということで農業研究開発センターそのものの体制の強化が大事だと思う。